

平成 25 年度事業報告のまとめ

特定非営利活動法人 山科醍醐こどものひろば

「すべての子どもが、もっと多様に活動できる機会として多様な連携が生まれた一年」

前年度から引き続き地域との連携した事業展開ができた一年。一部の事業だけでなく多くの事業がそれぞれのつながりを創り、これまで以上に山科醍醐という地域の方々と事業に取り組むことができました。

しかしながら、目標に掲げた成果の可視化と中長期計画、基盤整備という部分では、日々の多くの事業運営をすることというところまでで、目標に向けた具体的なアクションに取り組むことができませんでした。特に基盤整備に関しては、役職員、スタッフ、会員全員で取り組むべきことと総会で決め、取り組み始めたものでありましたが、実際には現状維持となっております。結果、決算でもわかるように、会員数は伸び悩んでおります。

また、決算としては多くのご寄付をいただいておりますが、これは会員収入、一部事業での寄付収入の不足によるものについて寄付のお願いをしたためです。何名かの大口の支援をいただきましたが、やろうと決めた事業計画に対して取り組めていない結果ですので、大きな見直しが必要であると考えています。

次の一年は、節目の一年ともなります。この一年で取り組むことのできなかった中長期の計画はもちろん、山科醍醐地域で、より充実した活動を子どもや家庭に届け、それぞれの豊かな育ちに寄与できる組織になれるよう、今一度山科醍醐こどものひろばに関わるみんなで、考え、活動に取り組みたいと考えます。

○事業計画から達成できたこと

・事業の成果の可視化と中長期計画

事業の成果に関しては、事業報告を作成していただきながら、また、徐々にではありますが、一部の事業ではヒアリングを進めながらそれぞれの事業について振り返り、評価し、今後の展開を議論するというのを始めだしています。しかし、可視化という部分ではまだまだ可視できるものを生み出せていないため、引き続き取り組んでいきたいです。また、計画に関しては、意見交換を数回実施しただけに留まったため、それら踏まえ、今後計画案を作成し、それをもとに議論を進めていく必要があります。

・醍醐地域での事業展開

京都府の補助事業や、京都市ユースサービス協会との中3学習会、地域小学校の放課後支援など1年間通じて、醍醐地域での事業実施に取り組みました。結果、近隣小学校や福祉事務所などとの関係もより強化することができました。また、これまでの貧困対策や学習支援だけでなく、小学校での土曜授業や人形劇フェスティバルといった体験型の事業も増えてきています。

・基盤強化に向けた組織内外の連携と事業・資源創出

ボランティアの増員はある程度達成できていますが、資金調達での1,000万はほとんど達成できていません。新年度では拠点整備が急務でもあるため、法人全体で取り組むことが必要と考えています。

・新法人設立と運営

実質的な機能として、連携促進や地域へのボランティアコーディネートなどに取り組むことができましたが、体制不十分であり、法人化には至りませんでした。現在あらためて設立準備をすすめており、年度早々にも独立をさせていきたいと考えております。

法人全体＜総会ならびに会議報告＞

【第14年度 通常総会】

会場 ラクト コミュニティルーム

開催日時 2013年7月21日(日) 13:30～17:00

審議事項議事録署名人選出の件、第14年度事業経過報告承認の件、第14年度事業活動決算承認の件、第15年度事業計画承認の件、第15年度事業活動予算承認の件、第15年度・第16年度の役員選出の件

【理事会】理事13人、監事2人で構成

会場 山科醍醐こどものひろば内、「げんきスポット0-3」及び「こども生活支援センター」

開催日 2013年：5月12日(日)、6月23日(日)、10月5日(土)、12月22日(日)

2014年：3月16日(日)、5月31日(土)

【常任理事会】

理事長、副理事長、常任理事、事務局長で構成。会のミッションに基づき大きな方針を話し合い、審議と行いました。

会場 山科醍醐こどものひろば内、「げんきスポット」及び「こども生活支援センター」

開催日 2013年：9月28日(土)、11月24日(日) 2014年：3月23日(日)、4月24日(木)、5月18日(日)

【事務局会議】

法人事務に関して、概ね月2回程実施し、業務遂行にあたった。

第15年 各事業報告

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者（スタッフ）の人数	対象者の範囲/定員参加人数	予算額（千円）	決算額（千円）
舞台芸術鑑賞活動	第6回山科醍醐こどもの創作劇公演 ※予算などは子どもが自ら創る体験活動事業の山科醍醐こどもの創作劇の項目参照	通年	京都市東部文化会館	4人	地域の子どもと大人 800人	—	—
子どもが自ら創る体験活動事業	Jr. キャンプ 小学生3年～中学3年対象の2泊3日のキャンプや年間を通じての野外体験活動を行った。	通年	地域一円	17人	地域の子ども 40人	406	461
	こどもフェスタ 当法人と山科商店会主催の子ども主体の「祭典」を実施する。	2013年 5月 26日	山科商店会	200人	地域の子どもと大人 4,000人	400	633
	わんぱくクラブ 幼児・低学年の子どもたちが、舞台鑑賞や野外活動を実施した。	通年	地域一円	20人	地域の子ども 30人	600	828
	自由帳 小学生～中学生を対象とした夏の合宿や年間を通じての創作活動を実施した。	通年	地域一円	12人	地域の子ども 20人	155	231
	山科醍醐こどもの創作劇 小学生から大人までの参加者が創る創作劇の実施や、ワークショップを行った。 ※山科区きずな支援事業 ※京都オムロン地域協力基金	通年	京都市東部文化会館 勧修寺公会堂	4人	地域の子どもと大人 30人	2378 助成金 500	2932 助成金 500
	町たんけん 地域を知り、その中の出会いから人と人がつながり、より良い地域になることを目指した。2014年1月に「歩こう！だいすき山科」ガイドブックを出版、地域の全児童に配布した。	通年	地域一円	13人 (スタッフ・ボランティア・講師)	メンバーの小学生は15名 ガイドブック配布は山科区の小学生7学年分及び大学生や大人にも向けて配布	1251	1229 京都府地域力再生プロジェクト交付金 311

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者(スタッフ)の人数	対象者の範囲/定員参加人数	予算額(千円)	決算額(千円)
こどもの居場所提供事業	<u>ひろば文庫</u> 子どもたちが、本に親しむ機会をつくる一助のため絵本の読み聞かせや本の貸し出しを行った。	毎週火～土曜日 第2日曜	げんきスポット内 ひろば文庫	11人	地域の子どもと大人のべ180人	—	
子育てサポート事業	<u>あそびっこクラブ</u> 未就園児を持つ親と、その子どもたちのサポート活動。地域の保育所やお寺を会場にして活動した。	第1 第3 月曜	地域一円	2人	家族10組	146	107
	<u>げんきスポット0-3 (ゼロさん)</u> 未就園児を持つ母と、その子どもたちのサポートを常設会場「げんきスポット」にて実施した。屋根のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット	35人 (スタッフ・ボランティア・講師)	地域の子どもと大人のべ6600人	委託事業 4770	5098 委託金 4355
	<u>楽習サポートのびのび</u> 集団活動が苦手なこどもや学習機会の少ないこども、また経済的等の理由で体験活動の機会がないこどもへの個別(生活・学習・余暇)支援事業。	通年	地域一円	30人	地域の子ども のべ289人	1000	0
	<u>子どもの貧困対策事業</u> 子どもの貧困を抱える家庭に楽習サポートのサービスを受けてもらう事業。 ※京都地域創造基金事業指定助成事業	通年	地域一円	30人	のべ289人	助成事業 4994 助成金 4,000	助成事業 1322 助成金 1322
	<u>山科醍醐地域ひとり親家庭等への生活・学習・居場所サポート事業(生活充実通年型)</u> 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心に、小学校高学年の子どもとその家族へのサポートを行う。 ※京都府補助金事業	通年	地域一円	30人	子ども のべ473人 保護者の べ18人	補助金 事業 8374 補助金 6500	補助金 事業 6500 補助金 6500

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者(スタッフ)の人数	対象者の範囲/定員参加人数	予算額(千円)	決算額(千円)
子育てサポート事業	<u>子どもの貧困対策事業ナイトステイからはじまる希望の連鎖づくり</u> 夜をひとりで過ごしていたり、安心して家で過ごせない子どもたちにナイトケア(宿泊活動)や夜の生活支援を終えた高校生による社会発信活動を実施。 ※ドコモ市民団体への助成事業	通年	地域一円	30人	小中学生のべ90人 高校生のべ62人	助成事業 650 助成金 500	助成事業 516 助成金 470
	<u>パーソナルサポートによるボランティア体験・グループワーク事業</u> 支援を必要とする若者へ個別支援を活用したボランティア体験事業。 ※NPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業	通年	京都一円	6人	のべ194人	助成金 500	助成金 482
	<u>こどもに体験活動、体験学習をプレゼント事業</u> ※京都地域創造基金事業指定助成事業	通年	当法人事務所	7人	のべ200人	600	助成金 46
	<u>ほっとタイムえんぴつ</u> 小学校放課後事業。 子どもたちの放課後の居場所作り	通年	小栗栖小学校・醍醐事務所	5人	6人	—	—
ボランティアサポート事業	<u>ボランティア学びの会「もぐもぐ」</u> スタッフ体制などが整わず4月からの実施となったが、参加者の希望する勉強会を定期的に実施している。	通年	当法人事務所	3人	—	63	—
	<u>講師派遣・インターンシップ受入事業</u> 当法人スタッフの講師派遣及び当法人におけるインターン希望者の受入を行った。	通年	地域一円	8人	—	—	—
	<u>子ども・青少年育成基金</u> 18歳までの生活困窮家庭の青少年の育成に寄与する事業。 ※京都南ライオンズクラブ結成50周年記念助成事業	通年	地域一円	30人	のべ60人	—	助成金 480
広報・出版事業	<u>コッペパン</u> 広報誌「コッペパン」の発行。 ※山科区社会福祉協議会助成事業	季刊	—	10人	1000部を4回	40	33 助成金 30
	<u>ひろばつうしん</u> 会員向け情報誌「ひろばつうしん」の発行。 イベントや活動の参加募集チラシ、外部団体のチラシなども発送。	月刊	—	10人	150部を12回	—	—

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者(スタッフ)の人数	対象者の範囲/定員参加人数	予算額(千円)	決算額(千円)
広報・出版事業	<u>ホームページ</u> 当法人におけるホームページの定期的な更新情報の発信及び、基本情報の公開を行う。	通年	—	10人	—	—	—
	<u>ひろばの本販売</u> これまでの活動の積み重ねで得たノウハウを出版という形で広く紹介し、併せてひろばの支援を得る手段とした。	通年	地域一円	4人	書店、事務所で販売 各地のシンポジウムや研修会で紹介・販売	—	211
ネットワークづくり事業	<u>第9回子どもの文化フォーラム</u> 地域の子どもの文化の向上を願い、山科に拠点を置く5団体が実施する共催事業を行った。	2013年6月30日	京都市東部文化会館	40人	地域の子どもと大人 700人	—	53
	<u>分野連携ボランティアネットワーク事業</u> 当法人登録ボランティアと子ども分野の活動団体とのネットワークづくりを行った。	通年	—	5人	登録10団体	—	—
	<u>だいが中3勉強会</u> 生活保護受給者中学生学習支援プログラム。	通年	醍醐事務所	10人	5人	—	140
	<u>サロン事業</u> チャリティサロン 運動やものづくりなどのカルチャー講座を開催。 みんなの家 フリースペースとして開放。(主催:社会福祉協議会)	サロン: 通年 みんなの家: 月曜	こども生活支援センター	サロン: 4人 みんなの家: 2人	サロン: 333人 みんなの家: 1日1~5人	—	—
	<u>企業との連携</u> 企業からのボランティア体験の受け入れや、イベントでのボランティア呼びかけなど。	通年	—	4人	—	—	—
	<u>ネットワーク</u> 子ども関連のネットワークづくりを行った。	通年	—	2人	—	30	—

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフ) の人数	対象者の 範囲/定員 参加人数	予算額 (千円)	決算額 (千円)
ネットワ ークづく り事業	<u>山科子育て応援団</u> 社会福祉協議会を事務所として山科で子育てサークルや子育て支援をしている諸団体と親子でフェスタやサロン開催した。 ※山科きずな補助金助成事業	6月 から 3月 まで 月1 回開 催	社会福祉 協議会 東部文化 会館	11人	地域の子 どもと大 人のべ 400人	—	—
	<u>醍醐人形劇フェスティバル</u> ※伏見区区民活動支援事業	2014 年 3月 15日	京都市 醍醐交流 会館	—	地域の子 どもと大 人	—	401 助成金 300
	<u>近畿ろうきん</u> 地域の子育て支援。	通年	当法人事 務所	7人	のべ200 人	—	302